

# 村の将来に 提案を

子どもたちが活発に質問・提案 1/21



▲議長を務めた西川茜衣梨さん（草野小）



▲子ども議会のようす



▲答弁する菅野村長



▲質問や答弁に聞き入る子どもたち

今年で10回目を迎えた「子ども議会」が役場議場で開かれ、村内3小学校の6年生が村の課題や今後の取り組みなどについて質問・提案しました。

これは、子どもたちに模擬議会を通して村の議会や行政が、村民生活の安定や向上にどのように関わっているか、理解を深めてもらおうと、村教育研究会（会長・竹之下道子飯館小学校長）が毎年行っています。

議会は一般質問の形式で進められ、各小学校の代表から出された質問に、村長はじめ各課長がそれぞれ答弁しました。

草野小学校の西川茜衣梨さん（草野）が議長を務めました。

子ども議員からは、答弁に対する再質問が出されるなど、活発に議論が交わされました。

最後に、各小学校から今後の村づくりに関する施策として3つの案が提案され、それぞれ賛成多数で承認されました。

※紙面の都合上、内容は要約してあります。

## 草野小学校 ▼ 飯館村の特産品のアップールについて



橋本 彩

### 質問

村には、飯館牛やみかげ石、様々な農産物など特産品がある。それを地域にアピールするためどのような工夫をしているのか伺います。

### 答（村長・産業振興課長）

村には、飯館牛やみかげ石のほか、インゲンやトマト、プロッコリ、トルコキキョウ、リンドウ、おこし酒、どぶろくなどもあります。特産品のPRは、東京や県



▲熱心にメモをとる子どもたち

内で、開催される物産展に出店しての即売、東京都内でのレストランなどの取引を通じたPRをしています。さらに、最近はいんターネットでの特産品詰め合わせ販売にも挑戦しています。

## 草野小学校 ▼ 飯館村の人口について



松林 陽太

### 質問

小学校では、だんだん子ども数が減っており、村全体でも同様だと思います。村では、人口が増えるようなさまざまな取り組みをしているが、その成果について伺います。

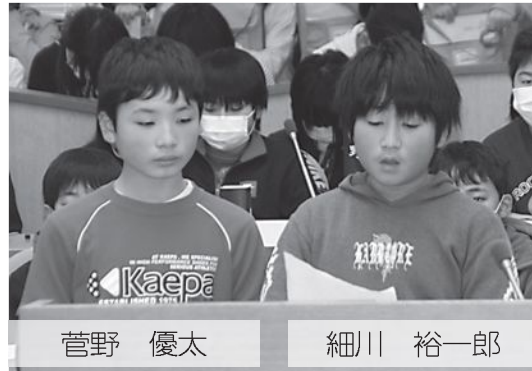
### 答（村長・総務課長）

村は、子どもも全体の人口も減ってきています。子どもの人口減少については将来の村への影響が大きいと考えて

います。

村では、若者の人口を増やすため、「いいたてエンジェルプラン」や子育てクーポン券、父子手帳、ないすパパ表彰、村内の飲食店や利用店で割引となる「マタニティライフ割引券」など子育てしやすい環境を整えています。ここ5年間の村の女性が一生の間に産む子どもの数を表す「合計特殊出生率」が県内一の1.85になったことは、これらの成果の一つと考えています。

## 飯館小学校 ▼ 医療費の無料化年齢引き上げについて



菅野 優太 細川 裕一郎

### 質問

村内の医療費の免除は小学生までが対象ですが、中学生・高校生まで引き伸ばせないのか伺います。

### 答（村長）

村の出生数は、年々減少を続けています。村では、子どもたちを大切な宝として育てるため、平成13年から

3歳までの医療費無料を小学校入学まで引き上げ、平成20年10月からは小学校卒業まで対象年齢を引き上げました。

医療費無料化を中・高校生まで拡大することについては、村議会からも同じ質問を受けていますので、将来の子算などを考えながら検討しているところです。

## 飯樋小学校

「みんなが楽しめる公園をつくり  
ましょう」



森永 真琴・伊藤 匡通

飯樋村は小さい公園が多いため、子どもからお年寄りまで楽しめる、緑豊かで、村の目玉になる公園を作ってほしい。そうすれば、村にも人が集まり新しい観光名所になるのではないかな。

## 白石小学校

「若者が『ここに住みたい』と思  
う村づくりについて」



林 歩

村は、ほとんどの若者が卒業と同時に村から離れていってしまう現状がある。

その理由として、村には何もなくて、働く場所も少ない等の理由が挙げられる。

そこで、企業誘致を行い働く場所を確保したり、娯楽施設をつくり余暇を楽しめるようにすれば、若者も「村にいたい」と思えるのではないかな。

## 草野小学校

「村民の絆を深め、ともに栄える  
村づくりのために」



佐藤 ちさき・眞壁 啓文

飯樋村は、広く家庭が分散しており、交通手段も限られ、同地区の中でしか触れあえない。

村は店が少なく村外に買い物に出かけることも多い。そこで、役場を中心としたエリアにショッピングモールや販売店、体育館、娯楽施設・郵便局などを集中させてはいかかが。そうすることで村全体が触れあひ絆を深めることができるのではないかな。また、就職口や人口や村外からの集客数が増え、村が栄えるのではないかな。



▲各学校からの提案を採決する子ども議員

**質問**  
福島県ではごみを減らす3R（スリーアール）運動を進めています。村の行政ではどのように取り組んでいますか。



青木 燎平

**答（村長・住民課長）**  
村では、3R運動として、さまざまな運動に取り組んでいます。  
①リデュース（ごみの発生抑制）として、ごみをできるだけださないゴミダイエツトマスターなど、②リユース（再利用）として、使わなくなった育児用品を提供してもらってリユース

## 白石小学校 ▼ 村では3R運動をどのように進めているのか

白石小学校区の前田地区や須賀地区には街灯が無く、特に冬場の歩行は不安を感じます。他地区の街灯はどこにあるのか、またこれからの設置計画はどうなっているのか伺います。



細杉 利征

**質問**  
白石小学校区の前田地区や須賀地区には街灯が無く、特に冬場の歩行は不安を感じます。他地区の街灯はどこにあるのか、またこれからの設置計画はどうなっているのか伺います。

**答（村長・住民課長）**  
現在村には、村や行政区、街路灯組合が管理している防犯灯・街路灯が727基あります。また、前田地区には15基、須賀地区には7基の防犯灯が設置されています。防犯灯の管理費用は、村が



手渡 裕子



松井 彬夢

**質問**  
「おいしいが高い！」というイメージが高い飯樋牛。もっと家庭で親しめる価格設定にはできないのか、また、知名度はどの位広まっているのか伺います。

**答（村長・副村長）**  
飯樋牛は、全国共通の肉のランク付け上位の5と4を飯樋牛として販売しています。販売価格は高いですが、それは販売者が努力して良質の牛を育てている成果です。

## 飯樋小学校 ▼ 飯樋の牛は高く、宣伝にならないのでは

**質問**  
「おいしいが高い！」というイメージが高い飯樋牛。もっと家庭で親しめる価格設定にはできないのか、また、知名度はどの位広まっているのか伺います。

**答（村長・副村長）**  
ただし、「買いやすい値段の飯樋牛がほしい」という声も大切なので、ランク3の飯樋牛を新たに加え、よりみなさんに食べていただけるよう工夫しています。飯樋牛は、県内を代表する牛肉として名高いですが、年間70頭前後の販売のため、まだ全国的には知られていません。しかし、今年の箱根駅伝放送のテレビ局のスタッフ弁当（2000食）として採用されるなど、着実に知名度が上がっていると考えています。